

# 令和5年度第1回 川崎市社会教育委員会議 青少年科学館専門部会

## 次 第

日時：令和5年6月28日（水） 午後2時～

会場：川崎市青少年科学館 自然学習棟2階 学習室

1 開会

2 委嘱状交付

3 館長挨拶

4 委員・館職員紹介

5 議題

令和5年度予算・事業計画について . . . . . **資料1**

6 報告事項

(1) 今後の専門部会開催スケジュールについて . . . . . **資料2**

(2) その他

7 閉会

### 【参考資料】

青少年科学館運営基本計画概要、科学館だより

# 川崎市社会教育委員会 青少年科学館専門部会 委員名簿

任期：令和4年5月1日から令和6年4月30日まで

		氏名	役職等
1号	教育職員	上野 和美	藤崎小学校 校長
		高橋 泉	白鳥中学校 校長
2号	社会教育関係		
3号	公募市民	服部 公俊	公募市民
		南條 邦子	公募市民
4号	学識経験者	佐藤 武宏	県立生命の星・地球博物館 学芸部長 (貝類学・甲殻類学・機能形態学)
		川島 逸郎	日本トンボ学会編集委員 (昆虫学)
		山岡 均	国立天文台天文情報センター センター長／准教授 (天文学)
		常喜 豊	昭和女子大学人間社会学部 特任教授 (動物生態学)
		栗芝 正臣	専修大学ネットワーク情報学部 准教授 (デザイン学)
5号	家庭教育関係	眞壁 総子	特定非営利活動法人 ままとんきっず 理事長

## 令和 5 年度 青少年科学館予算・事業計画

## 1 事業内容と予算

事業名	事業内容	R5 予算額 (千円)	R4 予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
青少年科学館運営管理事業費	事業実施、研究調査、展示設備等保守、会計年度任用職員任用、備品・消耗品の調達等、学芸業務に係る事業費、21世紀子どもサイエンス事業費	18,042	11,694	6,348	21世紀子どもサイエンス事業費の統合 保守費用他の増額等
青少年科学館指定管理経費	館の管理運営業務、広報業務等の指定管理者への委任に係る事業費	87,307	65,857	21,450	第3期指定管理 1年目
メガスター運営経費	最新鋭の投影設備を備えたメガスターⅢフュージョンの保守管理(12年目保守)、番組制作の委託に係る事業費	32,181	20,425	11,756	保守委託料の増額等
21世紀子どもサイエンス事業費	科学に親しむ子どもや市民を育成する。「玉手箱」運用等に係る事業費	0	3,353	△3,353	青少年科学館運営管理事業費に統合
ホクトゾウ人工飼育事業費	絶滅危惧種である生田緑地産ホクトゾウ系統保存の委託に係る事業費	176	177	△1	
運営基本計画策定事業費	第2期運営基本計画策定に伴う委託料等の事業費	0	3,760	△3,760	R4 策定済
	合 計	137,706	105,266	32,440	

## 2 事業計画

引き続き収集保存事業、展示事業、調査研究事業、教育普及事業、ネットワーク事業を行う。施設の運営管理等については指定管理者に委託する。

## (1) 収集保存事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1 収蔵資料の収集・分類・整理(台帳化)	昆虫資料を中心に新規資料の作製を進める。また、収蔵庫にある既存の昆虫標本のうち未登録資料の整理・登録(電子台帳化)として1,000点を目標に進める。	通年	新規資料として昆虫資料159点を採集、102点を展翅・展足中。 既存の昆虫標本の未登録資料112点を登録済み。 ※5月末現在
	2 GBIF等国内外機関への資料情報の提供	「サイエンスミュージアムネット(S-Net)」「地球規模生物多様性情報機構(GBIF)へのデータ提供による国内外への収蔵資料情報の公開	通年	本年度は植物標本等、資料2,250点を提供予定
天文	1 プラネタリウム番組のアーカイブ化	番組制作の際に収集した資料、番組素材のアーカイブ化を行う。 資料のデータベース化について、他館の事例を調査するなど検討を行う。	通年	番組資料の統一フォーマットを作成しアーカイブの目録を作成中。
	2 天文資料の整理保存	故富田氏、故箕輪氏から寄贈された天文資料を整理保存し、目録作成を進める。	通年	富田資料等についてはデジタル化と目録作成を進めている。

科学	1	科学実験についての資料収集と保存・管理	科学実験教室等で提出される計画書・報告書の管理及び実践事例集を作成し、科学市民団体と取組や成果の共有を図る。館内視聴や SNS 活用を踏まえて、科学工作を紹介する動画を制作する。	通年	計画書・報告書を実施の都度、管理・集約中。 科学工作の動画制作中。
----	---	---------------------	---	----	--------------------------------------

(2) 展示事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1	生田緑地の自然情報の発信	通年	受付横の生田緑地マップを2週間に1回程度、SNSを6回更新。※5月末現在
	2	新たな自然史資料による常設展示の更新	通年	四季だよりを年4回中1回更新、ピックアップテーブルを年10回中2回更新。※5月末現在
天文	1	プラネタリウム一般投影 (一般投影番組制作含む)	通年	5月10日以降入場人数制限を緩和(一般投影:150席/フュージョン投影:100席)、7月4日以降は通常の定員(一般200席、フュージョン132席)
	2	子ども向け投影 (子ども向け番組制作含む)	通年	5月10日以降入場人数制限を緩和(100席)、7月4日以降は通常の定員(200席) R5年度中に新番組1本を作成予定
	3	星空ゆうゆう散歩	11回	入場人数制限は一般投影に準ずる
	4	ベビー&キッズアワー	通年	7月から再開
	5	プラネタリウム学習投影	通年	
	6	星空自由空間 (一般団体貸切利用)	通年	要望に応じて随時対応
	7	天文関連展示事業	通年	
科学	1	市民協働の科学工作展示	通年	市民団体との協働にて展示内容を随時更新。AR展示を継続し、動画などの映像資料を新たに展示。

(3) 調査研究事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1 市域の生物調査	生田緑地を中心として、市域における動植物相解明を進めるための生息種の確認調査を行うとともに、モニタリングが可能な分類群については、生息状況把握のための実態調査を実施する。	通年	委託事業として4月から実施。
	2 市民の興味関心を高める調査研究の実施	外来種のムネアカハラビロカマキリについて、昨年度の幼虫期での採集圧による個体数抑制の効果を検証するために、生息状況を調査する。また、新たな調査研究の対象について検討する。	通年	7月から調査を実施予定。
天文	1 川崎市域の星の見え方調査	市民協働により川崎市域における星の見え方調査を継続して実施する。	2回	インターネットでの調査を実施
	2 天体の観測	太陽望遠鏡での白色光及びH $\alpha$ 光による太陽観測、アストロテラス、天体観測室の望遠鏡及び冷却CCDカメラ等の観測装置を活用した観測的研究を行う。	通年	条件の良い日に随時観測を行う。
科学	1 市民の興味関心を高める調査研究の実施	授業活用をねらい、玉手箱テーマから飛ぶタネの仕組みや種の保存、植物の多様性について体験を通して学べるキットのブラッシュアップと、地層学習のデジタル教材に関連したプログラムを研究する。	通年	地層学習のデジタル教材の原案を作成中。

(4) 教育普及事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1 生田緑地観察会	生田緑地の地質、野鳥、植物、昆虫など、四季折々の自然を観察する。(市民団体が講師)	26回	3回開催、天候不順により2回中止。 ※5月末現在
	2 サイエンス教室(自然分野)	バックヤードツアー等の教室を4回、地質をテーマにした観察会を含む3回連続講座を開催予定。	7回	自然分野は教室を6月、10月、11月、3月に、連続講座を9月から11月の期間に開催予定。
	3 自然サポーター研修会	自然分野の調査研究等を行う自然サポーターを養成することを目的とした講座	4回(連続講座)	9月から10月にかけて実施予定。
	4 自然観察(地層・林)	学習支援を目的に、小・中・高等学校の依頼に基づき、生田緑地内の地層及び林の観察会を実施する。	通年	4月から受入中。
	5 総合的な学習の時間支援	小・中・高等学校の依頼に基づき、総合的な学習の時間の支援を行う。	通年	要請受付中
天文	1 アストロテラス公開	平日の昼間アストロテラスにて太陽の観察を行う 月に2回程度、日曜日に「昼間の星を見る会」を開催し、太陽と1等星や惑星などを観察する。	通年	
	2 星を見るタベ	日没後アストロテラスにて天体観察会を実施する。通常は月2回土曜日の実施だが、8月は毎週計4回実施する。	26回	定員100名の事前申込制で実施。
	3 特別観望会	珍しく観察しやすい天文現象等を観察する観望会を開催する。今年度は該当する天文現象はなく、計画なし。	計画なし	

	4	プラネタリウムワークショップ	小学生を対象とし、プラネタリウムの番組を企画・制作・投影する教室を実施する。	12回 (連続講座)	5月から実施中
	5	天文講演会／天文講座	外部から講師を招き天文等に関する講演会を開催する。	1回	12月に開催予定
	6	天文サポーター研修会	天文事業ボランティアの会合を定期的に実施し、事業の準備や研修を行い、スキルアップと事業の充実を図る。	12回	定期的な会合による研修を実施。
	7	プラネタリウム イベント投影	プラネタリウムの星空と音楽や映像を楽しむコンサートや映像イベントを開催する。	3回	10月にオーロラ、12月にコンサート開催予定
	8	かわさき星空ウォッチング	アストロカー(移動天文車)で市内各地に向き、天体観察会を実施する。	通年	
	9	サイエンス教室 (天文分野)	アストロテラスの望遠鏡を使った天体観察等を体験する教室を実施する。	8回	
科学	1	ワクワクドキドキ玉手箱 出前科学実験教室	小中学校等の依頼に基づき、委託団体が出向いて、ワクワクドキドキ玉手箱を活用して行う科学実験教室	通年	実施中
	2	サイエンス教室 (科学分野)	様々な年代を対象に、科学の楽しさに触れられる実験や工作を行う事前申込制の教室。 かわさきアトム工房(小学生対象)13回 NPO科学実験教室サポーター・くじら(小学生中学年以上対象)10回 トラボクラブ(親子参加型教室)3回、(大人向け講座)1回 サイエンス・ちゃれんじ・チーム(大人向け講座)1回 チーム・コスモス(小学生対象)2回 科学館職員(科学分野テーマ)1回	33回	実施中
	3	サイエンスワークショップ (サイエンスショー含む)	子どもから大人まで楽しめる当日参加型のイベント。サイエンスをテーマにした簡単な工作や観察・実験を実施。 かわさきアトム工房29回 NPO科学実験教室サポーター・くじら2回 トラボクラブ12回 サイエンス・ちゃれんじ・チーム2回 チーム・コスモス5回 科学館職員13回	63回	実施中
		科学実験ショー (サイエンスショー)	ワクワクドキドキ玉手箱を活用した科学実験ショーなどの開催 ※11/3、2/23 祝日の2日間を予定(トラボクラブ担当)	2回	11・2月開催予定
	4	第18回かわさきサイエンスチャレンジ	子どもの科学への関心喚起・促進を目的に、KSP(かながわサイエンスパーク)で開催される「かわさきサイエンスチャレンジ」に参加し、科学実験教室を実施する。	8月	開催準備中
	5	科学サポーター研修会	科学実験指導者を養成することを目的とした講座	6回 (連続講座)	7月2日から全6回講座を開催予定
	6	子ども創意くふう教室	一人ひとりの創造性を伸ばすことを目的に行う、科学実験・工作教室(担当講師:川崎市元教員)	5回 (連続講座)	12月開催予定
	7	出前教室	科学館職員が、実施団体から依頼を受けて自然や科学、天文に関するテーマに行う出前教室	通年	要請受付中

	8	学校支援 ゆうゆう広場科学実験教室	川崎市適応指導教室（ゆうゆう広場）に通う小中学生を対象に、科学館や各ゆうゆう広場にて行う科学実験教室	24回	5月から開催中
	9	学校支援 かわさき GIGA スクール構想	学校の理科教育の充実につながるよう端末を活用したデジタル教材を開発し、提供する。	通年	開発作業中
出版事業	1	青少年科学館「紀要」等出版物の刊行	調査研究等、学芸事業の成果を「紀要第34号」に取りまとめていくが、紀要への査読の導入、紙媒体での刊行、公表時期等、紀要の在り方について他館での状況を参考に検討する。	通年	他館への調査を実施中

(5) ネットワーク事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況	
展示・企画	1	神奈川リレー科学実験教室	科学に関心をもつ子どもの育成や、科学の体験活動を推進することを目的とした教室を開催する。 共催：神奈川県立青少年センター 7月16日（日）開催予定	1回	7月開催予定
	2	FIELD MUSEUM 展	令和6年1月14日（日）に、専修大学ネットワーク情報学部コンテンツデザインプログラム専攻の学生がデザインした生田緑地の体験型教材等について、展示・解説を行う。	1回	1月開催予定
	3	川崎市臨海部企画展示	川崎市臨海部事業推進部との連携による企画展示を開催する。キングスカイフロントの取組や市内企業による最先端技術の紹介を開催予定。	1回	日程調整中
調査研究・収集保存	1	川崎市域の生物調査	「かわさき自然調査団」と共著で調査結果を公表する。「神奈川県植物誌調査会」の川崎ブロック事務局として資料の受入、問合せ等に対応する。	通年	適宜対応
学習支援	1	職場体験・職業インタビューの実施	中・高等学校の依頼に基づき、博物館業務の一部を体験学習させる職場体験や、市内小中学校等を対象に、博物館業務全般についての解説をする職業インタビューを行う。	通年	適宜対応
	2	中学校連合文化祭開催への協力	市内の中学生が集まり、川崎市中学校理科作品展に出展し、受賞した作品の研究発表を行う。 ※令和5年10月25日（水）会場協力予定	1回	10月開催予定

	3	<p>教員・職員等研修の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員研修</li> <li>・教員社会体験研修</li> <li>・博物館実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外の小中学校及び理科研究会などの依頼により、自然観察（地層・林）や天文の研修会を実施する。横浜国立大学 CST 養成講座、川崎市総合教育センター依頼の研修会に対応する。</li> <li>・主に、県内小中高등학교、特別支援学校に勤務する教職員 5 年及び 10 年経験者研修対象者からの要請により、館の業務体験の機会を提供する。</li> <li>・博物館学芸員を志す学生を有する大学からの要請により、プログラムを編成し、8 月に 2 週間の実習を実施する。</li> </ul>	通年	適宜対応
	4	川崎市小・中学校理科優秀作品展	小学校科学作品展における市長賞受賞 7 作品を 12 月に展示する。中学校理科作品展における金賞作品及び、日本学生科学賞神奈川作品展特別賞受賞作品を令和 6 年 1 月に展示する。作品審査や展示解説の追加等、学校団体と連携して行い、展示会を通して来館者の科学への興味・関心を高める。	1 回	12 月・1 月開催予定
地域 振興 ・ 生田 緑地 内	1	図書館、区役所等との共催事業の実施	プラネタリウムでの読み聞かせ事業の多摩図書館との共催、区民祭等多摩区役所が実施する各種イベントの共催、連携を推進する。	通年	図書館連携は 11 月開催予定。区民祭 10 月開催予定
	2	地域の大学、団体等との共催事業の実施	インターンシップの受入れ等、地域の大学・団体等との連携を推進する。	通年	適宜対応
	3	生田緑地ミュージアムの実施	指定管理者、生田緑地内施設との連携により、円滑な事業運営体制を構築して実施する。	1 回	9 月開催予定
	4	日本民家園との「七夕」「お月見」事業の共催等、生田緑地内施設との共催事業の実施	「七夕」「お月見」事業の日本民家園との共催により、プラネタリウムの関連番組の投影、七夕飾りつけ体験やお月見トークを行う。	通年	七夕事業は、7 月 1, 2 日の 2 日間にかけて実施予定 お月見は開催方法等を民家園と検討中
	5	生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上	全体会議、広報担当者会議の参加、協力により、緑地内施設と指定管理者との情報共有、横断的広報活動の推進を図る。生田緑地内施設、藤子・F・不二雄ミュージアムとの連携によるスタンプラリーの開催、生田緑地イベントガイド作成等により施設の回遊性の向上を図る。	通年	定期的な広報会議等で随時情報共有・交換を図る。

(6) 管理運営

	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
管理 運営	1 管理業務	指定管理者との連携により館を円滑に運営するとともに、予算の計画的執行、来館者数の確保を図る。 令和 5 年度は第 3 期指定管理の 1 年目となるが、指定管理者と連携し、円滑な事業運営を行うとともに、自主事業の実施を支援する。	通年	指定管理者と市の連携により適切に運営中。



	2	危機管理	館の災害対応マニュアルについて、収蔵資料の保全も含めて内容整備を進めるとともに、定期的な訓練等を通じて災害時における適切な対応の確保を図る。 また、第3期指定管理者による緑地全体の危機管理マニュアルの整備、訓練等を通じて、広域避難所内の一施設としての適切な対応の確保を図る。	通年	館内防災体制の明確化のため、避難誘導、天文管理、施設巡回、初期消火、応急救護の5班を設置、マニュアルを作成し、非常時対応の共通認識を図っている。
	3	進行管理	事業の自己評価を適切に行い、青少年科学館専門部会の事業評価や指導・助言を踏まえて年度事業計画を策定し、事業実施・進行管理を行う。	通年	年間計画に沿った事業実施を図る。
科学館の魅力を高めるサービス展開	1	広報計画	科学館だより、プラネタリウムリーフレット、ホームページ、SNS等による情報発信を広範かつ迅速に行うとともに、緑地全体の広報活動と連動した情報発信を行う。	通年	科学館だよりを市立小学校全家庭に配布するとともに、適宜 twitter、facebook 等の SNS 等で積極的に情報発信している。
	2	魅力を高めるサービス展開	適切な接遇及び研修による職員の専門性の向上、カフェ・ショップにおけるサービスの向上、来館者の利便性向上などにより、館全体の魅力向上を図る。	通年	適切な案内・接遇に努め運営中。職員の専門性を高めるための研修を計画中。
	3	多様な利用者への配慮	バリアフリー関連設備・用具、表示の保全と研修等による人的支援の充実を図るとともに、外国人来館者も含め利用者の利便性向上を図る。	通年	施設設備のバリアフリー対応は確保されており、接遇面で外国人他多様な来館者に配慮した対応を継続中。

令和5年度 青少年科学館専門部会 今後のスケジュールについて

